

平成29年度大阪府立池田北高等学校 第3回学校協議会記録（概要）

1 日 時： 平成30年2月27日（火） 午前10時～午前11時20分

2 場 所： 大阪府立池田北高等学校 校長室

3 協議会委員：

① 協議会委員（委嘱委員）

〈敬称略〉

会 長	木村 寛仁	大阪音楽大学 音楽学部 教授	学識経験者
会長代行	西留 清信	池田市立ほそごう学園 学園長	学識経験者
	西村 章	池田市立児童館 館長	地域の住民
	野村 剛志	大阪府立池田北高等学校同窓会会長	その他関係者
	堀田 守	阪急田園バス株式会社 伏尾台支社長	その他関係者
	和田 直美	大阪府立池田北高等学校 PTA 会長	保護者代表

② 事務局員（校内出席者）

校 長	若林 智子	事 務 長	東筋 和裕
教頭(事務局長)	吉岡 靖人	首 席	山本 進

※記録：首席

4 内 容：

配付資料の確認 / 学校協議会開会

(1) 学校長あいさつ

(2) 協議・連絡

① 平成29年度学校経営計画及び学校評価（案）について

・2/6 放映 J:COM「デーリーニュース北摂」視聴

・平成29年度学校教育自己診断結果等を踏まえて

② 平成30年度より学校協議会が学校運営協議会になることについて

③保護者からの意見調査の現状報告について

④その他

(3) 諸連絡

5 協 議：

*協議に先立ち、『明るく元気な池北ファイナル』企画「壁面アート」

(2/2 実施) が放送された J:COM「デイリーニュース北摂」を試聴

ー当初2分程度の予定が6分を超える放映時間となった

① 平成29年度学校経営計画及び学校評価（案）について

▽校長より2/24 池田市民文化会館で開催された「第34回芸術発表会（FINAL）&閉校イベントのお礼

▽校長より、平成29年度学校経営計画及び学校評価（案）を、主に学校教育自己診断結果ならびに自己分析の資料をもとに説明



(委員より)

- ・経年比較すると、行事に関する生徒の満足度が増えている。保護者も「池北へ進学させてよかった」と感じる割合が多い。
- ・「授業がわかりやすい」との回答を増やすには、教員側の努力だけでなく生徒のモチベーションの向上との両方が必要であるとする回答の割合が増えていることに注目している。
- ・思春期である高校生では、おおむね低くなりがちな自己肯定的な回答の割合が高いことを評価する。また、教職員の日常的な情報交換が行われているとする回答の割合が高いのもよいことである。
- ・「明るく元気な池北ファイナル」の取組みをそばで見ている、いい思い出を生徒に残してあげたいという学校の思いを感じる。
- ・池田駅の西のりば、伏尾台もさびしくなる。「学生がうるさい」という批判もあったが、池北生が伏尾台を盛り上げてくれた。
- ・開校前、バスにぎゅうぎゅうに詰め込まれ、入試の時に既に気分が悪くなり、3年間自転車で通った友人が1期生にはいた。そうした経験から考えると隔世の感がある。
- ・「池北ファイナル」の取組みについていえば、生徒は「閉校でさびしい」よりも「毎月行事があつて、かえって楽しい」と感じているようだ。
- ・生徒質問の「池北へ進学してよかったですか」は、生徒当時の回答よりも、年齢を重ねるにつれ「よかった」の回答が増えていく。そのような数字として見ていかねばならない。
- ・めざす学校像として挙げられている「明日への扉」と「有終の美」というテーマに向けて、みんなが最後まで頑張ってもらいたい。
- ・子どもはたいへん学校生活を楽しんでいた。本当に池北に進学させてよかった。
- ・子どもたちから聞く話では、「親に（自分のことを）理解してもらっていない」と思っている子が多いことに驚いている。また、退学した子も「やめなければよかった」と言っていると聞いた。
- ・学校教育自己診断で教職員の回答率が100%であること、そして「学校の教育活動について日常的に話し合っている」回答が90%であることが評価できる。

② 平成30年度より学校協議会が学校運営協議会になることについて

▽府教育庁チラシ「平成30年度より全府立学校に学校運営協議会を設置します」を基に、概略を校長より説明

▽来年度の学校経営計画には、「働き方改革」の立場から「教員の長時間労働対策」につながるような項目を入れることが求められている。こうした話題にも、学校運営協議会では触れることになる。

③ 保護者からの意見調査の現状報告について – 学校協議会に寄せられた意見はなし

④ その他

▽校長より、2日後の「卒業式・閉校式」についての情報提供並びに協力依頼を行った。